

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業計画期間	平成22年度～平成26年度																					
事業実施地区名 （都道府県名）		（おおいたなんぶ） 大分南部森林計画区 （大分県）		事業実施主体	九州森林管理局 大分森林管理署																				
事業の概要・目的		当事業実施地区は、大分南部森林計画区の佐伯市全域に位置する13,808haの国有林野を対象としている。 当計画区は、大分県南東部に位置し、森林の現況は人工林62%、天然林38%となっており、主な樹種は針葉樹ではスギ・ヒノキ、広葉樹では、クヌギ・カシ類となっている。 地形は一般的に起伏で急峻急斜面が多く、このため森林に対する要請は国土保全や水源かん養機能面での期待が大きく、人工林率が高く木材生産基地としての役割も期待されている。 傾山周辺は祖母傾国定公園及び祖母山・傾山・大崩山周辺森林生態保護地域に指定されて自然環境の保護保全形成に重要な役割を果たすとともに、登山等の保健休養の場として、広く国民に利用される観光資源となっている。 このため、林産物の供給や地域振興への寄与はもとより、国土保全や水源のかん養等の公益的機能の発揮のみならず、地球温暖化防止、生物多様性の保全及び森林のふれあい等、森林の持つ多面的な機能の発揮に対する地域の要請は高い。 当事業ではこれら、地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止に積極的に寄与するため植栽等の更新作業、下刈、除間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための林道の新設・改良等の路網整備を行い、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備を行うことを目的とする。 <table><tr><td>主な事業内容</td><td>森林整備</td><td>更新面積</td><td>107 ha</td></tr><tr><td></td><td></td><td>保育面積</td><td>4,101 ha</td></tr><tr><td></td><td>路網整備</td><td>開設延長</td><td>8.9 km</td></tr><tr><td></td><td></td><td>改良延長</td><td>13.4 km</td></tr><tr><td>総事業費</td><td colspan="3">1,740,143 千円</td></tr></table>				主な事業内容	森林整備	更新面積	107 ha			保育面積	4,101 ha		路網整備	開設延長	8.9 km			改良延長	13.4 km	総事業費	1,740,143 千円		
主な事業内容	森林整備	更新面積	107 ha																						
		保育面積	4,101 ha																						
	路網整備	開設延長	8.9 km																						
		改良延長	13.4 km																						
総事業費	1,740,143 千円																								
費用対効果分析		<table><tr><td>総 便 益（B）</td><td colspan="3">13,097,066 千円</td></tr><tr><td>総 費 用（C）</td><td colspan="3">1,970,434 千円</td></tr><tr><td>分析結果（B／C）</td><td colspan="3">6.65</td></tr></table>				総 便 益（B）	13,097,066 千円			総 費 用（C）	1,970,434 千円			分析結果（B／C）	6.65										
総 便 益（B）	13,097,066 千円																								
総 費 用（C）	1,970,434 千円																								
分析結果（B／C）	6.65																								
評価結果		・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。																							

便 益 集 計 表

事業名：森林環境保全整備事業

事業実施主体：九州森林管理局

事業実施地区名：大分南部森林計画区（大分県）

大分森林管理署

（単位：千円）

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	3,441,673	
	流域貯水便益	866,929	
	水質浄化便益	1,222,780	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,123,002	
環境保全便益	炭素固定便益	683,699	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	146,571	
	木材生産確保・増進便益	4,330,566	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	192,265	
	森林管理等経費縮減便益	9,048	
	森林整備促進便益	55,200	
維持管理費縮減便益		25,333	
総便益 (B)		13,097,066	
総費用 (C)		1,970,434	
費用便益比		6.65	